

公益社団法人愛知県医師会 第31回(定例)理事会議事録

開催日時：平成26年1月16日(木) 午後4時5分～午後4時50分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／稲坂 博 可世木成明 市川朝洋 吉田 貴 伊藤 健一

城 義政 加藤 雅通 大輪 芳裕 西山 朗 伊藤富士子

瀨 瀨 雅明 細川 秀一

監事／加藤 茂 丹羽 巽 岩瀬 敬紀

代議員会議長／杉田 洋一

代議員会副議長／藤原 誠治

欠席者 檜尾 富二 松尾 清一 樋口 俊寛

議事録作成者 横地 宏和

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者21名(うち理事16名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議 事

一承認事項一

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①愛知県泌尿器科医会(会長 吉田和彦)の行う第4回愛知県泌尿器科医会市民公開講座〔5/17(土)〕の後援について
市川理事より説明があり、承認された。

②特定非営利活動法人 共生会(代表 墨鉦平)の行う不登校・ひきこもり家族支援フォーラムin海部〔3/1(土)〕の後援について
市川理事より説明があり、承認された。

③中日新聞社主催の中日新聞健康セミナー〔3/2(日)〕の後援について
市川理事より説明があり、承認された。

- (2) 一般社団法人日本尊厳死協会東海支部(支部長 青木仁子)主催の第4回終末期医療の法制化研究会(シンクタンクの会)の共催等について
3月2日(日)開催の標記研究会につき、市川理事より説明があり、共催及び柵木会長の挨拶、日医生涯教育講座認定申請が承認された。
- (3) 救急救命士国家試験のあり方等に関する検討会委員の就任依頼について
市川理事より説明があり、愛知県救急医療情報センター野口統括センター長の就任が承認された。
2. 愛知県医師会医療圏医療協議会委員の変更について
伊藤(健)理事より説明があり、名古屋第一赤十字病院小林陽一郎先生から宮田完志先生への変更が承認された。
3. 病院の認知症対応力向上事業 第4回 モデル事業企画支援会議〔2/3(月)〕開催について
(愛知県医師会主催：5階医師連盟会議室)
伊藤(健)理事より説明があり、標記会議の開催が承認された。
4. 愛知県栄養士会との懇談会〔2/14(金)〕開催について
(愛知県医師会主催：愛知県医師会館)
城理事より説明があり、標記懇談会の開催が承認された。
5. 愛知県医師会医療秘書学院講師会〔2/23(日)〕開催について
(愛知県医師会医療秘書学院主催：名古屋東急ホテル)
大輪理事より説明があり、標記講師会の開催が承認された。

—協議事項—

6. 保団連第46回定期大会〔1/25(土)・1/26(日)〕に対する祝電・メッセージのお願いについて
(全国保険医団体連合会主催：都市センターホテル(東京・千代田区))
加藤理事より説明があり、標記大会に「会の成功を祈念する」のメッセージを送ることが承認された。
7. その他
- ・ 新型インフルエンザ等対策特別措置法の規定に基づく特定接種の登録について
瀬瀬理事より、特定接種の登録について、県医師会としての方向性を決めて頂きたいと発言された。
柵木会長より、登録がどういう意味を持つか理解してから登録するスタンスであると発言された。
山本副会長より、登録した際には従業員にまで新型インフルエンザ発生時の業務

従事の確約はとれないと発言され、瀨瀨理事より各機関長の判断に従うことになると回答された。

伊藤（健）理事より、非常勤の換算方法について疑問が残ると発言された。

伊藤副会長より、日本医師会は指定公共機関であり、その地方機関である県医師会は指定地方公共機関になる予定であるため、必然的に新型インフルエンザ発生時には業務を行う責務が発生し、物資の備蓄、業務継続計画の整備が必要になる。そうならば地区医師会へも登録のお願いよりも強い形のものになるのではないか。また、新型インフルエンザの行動指針にはフェーズがあるので一般の医療機関は蔓延期に対応することになり、通常の業務から大きく外れることはないであろうと発言された。

瀨瀨理事より、県医師会においても業務継続計画作成の必要があると発言された。

柵木会長より、日医の理事会では特措法は強制力があるものなのでしっかりと会員へ周知した上で登録の勧奨をすべきと話があった。従って、県医師会としても登録が終わった後についても本登録の趣旨、強制力等について会員へ周知を行いながら、登録の勧奨をしていくことにすると発言された。

—報告事項—

1. 中部医師会連合第 10 回常任委員会〔1/8(水)〕について

(中部医師会連合主催：マリオットアソシアホテル)

柵木会長より、地域医療支援センターについて、全国で 30 箇所設置されていて、今年
は 10 箇所設置。愛知県は平成 27 年度に設置予定であり、各県に現状を確認したとこ
ろ大学か行政に設置してある。医療勤務環境改善支援センター事業についても医師会
で運営する予定の県はない。また、医師連盟、日医連医政活動研究会の参加について
検討・報告されたと報告された。

2. 支払基金幹事会〔1/8(水)〕について

(支払基金主催：支払基金)

伊藤副会長より、通常の業務報告、レセプト審査の傾向報告以外に、規制改革会議
健康・医療ワーキング・グループについて、厚生労働省保険局からのヒアリング等
に基づいた意見、手数料負担の水準、突合・縦覧点検の実施、医科診療報酬点数表
に規定された算定ルールのチェックポイントの抽出例について説明されたと報告さ
れた。

3. 平成 26 年 名古屋市消防出初式〔1/12(日)〕について

(名古屋市主催・名古屋港ガーデンふ頭)

稲坂理事より、消防車両 71 台、消防艇 3 艇、航空機 2 機、消防団可搬式ポンプ 16
台、消防職員 575 名、消防団員 1,256 名、市民防災組織 100 名が参加。昨年度、783
件の火災が発生し 18 名が失命。救急は、市内 38 の救急隊が 11 万 5,280 件の出動。
1 日約 316 件、約 4 分 36 秒に 1 回出動、市民 20 人に 1 人の救急車利用で救急車の
適正利用が求められる。また、事故の救急出動は 1,086 件、723 名の人命が救出さ
れたと報告された。

4. 救急医療情報センター年末年始期間中の案内状況について

稲坂理事より、年末年始期間中の総受信件数は 12,055 件で、昨年と比較すると 1
日あたりの件数が約 1 割増加し、ウィルス性胃腸炎の流行が要因と考えられる。な
お、12 月 28 日午前 4 時 33 分より午前 9 時 53 分まで県民問合せ電話が不通になる
事案が発生し、関係機関に連絡する等対応に追われた。原因については、回線制御
装置の不具合と推測されるが、詳細については、現在業者が調査中であると報告さ
れた。

5. 第 3 回医療関係者検討委員会〔12/18(水)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

市川理事より、第 20 回チーム医療推進会議の報告があり、在宅における薬剤師の調
剤業務見直し(案)、診療放射線技師及び臨床検査技師の業務範囲の見直し(案)等
について話し合われ、その他、救急救命士の業務の場の制限緩和等の要望についても
資料説明がされたと報告された。

柵木会長より、各職種の業務見直し意見に関しての対応について検討をしているか質問され、市川理事より、意見に対してのスタンスを検討していると回答された。

6. 学校保健健診懇談会〔1/13(月・祝)〕について

(愛知県医師会主催：9階大講堂)

吉田理事より、定例報告「平成25年度心電図精度管理実施報告」、「不整脈の管理基準の改訂」、「愛知県における学校検尿の現状2013」、「新しい小児CKD(慢性腎臓病)対策」と、特別講演「こどもの肥満・メタボリックシンドローム予防には何が大切か?～全国調査の結果をふまえて～」が行われ、医師27名、臨床検査技師29名、三重県医師会2名、岐阜県医師会2名、その他42名の計101名が参加したと報告された。

7. 病院の認知症対応力向上事業第3回モデル事業企画支援会議〔1/6(月)〕について

(愛知県医師会主催：5階医師連盟会議室)

伊藤(健)理事より、認知症対応力向上研修(1/11(土))の最終的な進行確認、検討事例の選定などを行った。認知症対応病院モデル事業に関しては担当委員よりモデル病院2施設に関する進捗報告と今後の実地指導スケジュールの説明があった。また、次年度の候補施設については各病院の規模・機能と当事業の趣旨を踏まえて事前調整を行ったと報告された。

8. その他

・肝臓手帳の配付について

瀬藤理事より、第30回(定例)理事会の報告議題、「愛知県肝臓手帳(仮称)作成委員会〔12/27(金)〕について」にて、柵木会長より質問のあった新規肝炎患者の把握方法について、愛知県は保健センターでの検診結果は把握していないので、愛知県が所管する保健所での検診及び保健所より委託された検診結果に基づいて新規肝炎患者の把握をすると報告された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成26年1月16日